

 **ロンブルーフ防水事業協同組合**

TEL.03-5600-4036 FAX.03-5600-4037  
〒130-0021 東京都墨田区緑4丁目15番3号 ロンシールビル1階  
<http://www.lonproof.or.jp/>

 **ロンシール工業株式会社**

TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846  
〒130-8570 東京都墨田区緑4丁目15番3号  
<https://www.lonseal.co.jp>

札幌営業所 TEL.011-271-0411  
〒060-0042 札幌市中央区大通西12丁目4-69 あいおいニッセイ同和損保札幌大通ビル6F

仙台営業所 TEL.022-301-8788  
〒981-0915 仙台市青葉区通町2-5-28 アクス通町5階501号

北関東営業所 TEL.048-664-1511  
〒331-0812 さいたま市北区宮原町3-376-1 サンフィール大宮宮原403号

東京営業所 TEL.03-5600-1866  
〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3

横浜営業所 TEL.045-662-7370  
〒231-0013 横浜市中区住吉町1-14 第一総業ビル6F

名古屋営業所 TEL.052-950-3200  
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-27 EBSビル4F

大阪営業所 TEL.06-6304-2704  
〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-9-27 新大阪メイコービル4F

広島営業所 TEL.082-506-2500  
〒732-0827 広島市南区稲荷町2-16 広島稲荷町第一生命ビルディング4F

福岡営業所 TEL.092-472-5857  
〒812-0008 福岡市博多区東光2-6-6 第3フジクラビル2F 201号



1971

**HISTORIA LONP**

2021

# 塩ビシート防水のパイオニアとして50年 確かな品質と責任施工体制でさらなる発展をめざす

1971年、塩化ビニルシート防水工法が注目され、確かな品質と責任施工に使命感をもった防水施工者を育成するために、東日本ロンプルー防水事業協同組合が誕生しました。

翌年には西日本ロンプルー防水事業協同組合が発足。そして2004年に東西の組合組織が統合されひとつとなりました。

当組合は時代の流れのなかで常に業界最先端の技術力、施工力をもって着実に発展し、2013年には年間400万㎡を超える施工実績を達成。50年にわたるロンプ発展の歴史は、日本国内における塩ビシート防水の歴史とも言えます。ますます激しく変化していく時代に対し、さらなる発展を目指してまいります。



ロンプルー防水事業協同組合 理事長 **山崎 睦治** Yamazaki Mutsuji

ロンプルー防水事業協同組合は、今年で記念すべき設立50周年を迎えました。

過去・現在において組合の発展のためにご尽力いただいた諸先輩方に、心からお礼を申し上げます。初代・吉村和徳氏、第2代・吉田幸雄氏、第3代・堀尾光好氏、第4代・大澤孝至氏の想いを引き継いだ第5代理事長として、組合を代表してご挨拶申し上げます。

当組合は戦後の高度経済成長に支えられて、塩ビシート防水の国内最大組織にまで発展することができました。しかし、今日に至るまでの過程においては、オイルショック、バブル経済崩壊後の低迷、リーマンショックなど幾度もの不況に見舞われ、決して順調な歩みではありませんでした。組合とロンシール工業(株)が手を取り合い、苦労を重ねながら材料・工法開発に取り組み、塩ビシート防水の市場を牽引してきたという自負があります。

この歴史ある組合のメンバーの一員として、さらなる発展を目指さなくてはなりません。50年前に東日本ロンプルー

防水事業協同組合が設立された当時は66社が加入し、初年度の出荷数量は約40万㎡でした。翌年には西日本ロンプルー防水事業協同組合が発立され、2004年の東西統合を経て、現在は組合員数280社以上、年間施工面積400万㎡を達成できるレベルになりました。常に前を向き、何事に対してもチャレンジ精神で立ち向かってきた結果であると言えます。

現在、建築業界では、担い手の確保、働き方改革への取り組み、大型台風や集中豪雨といった災害への対応など、多くの課題を抱えております。また、新型コロナウイルス感染拡大は深刻な影響をおよぼしています。これらを解決して乗り越えながら、施工実績を拡大していくことがわれわれの使命だと考えております。

最後に、50年の長きにわたって信頼を寄せてくださった組合員をはじめ、メーカー、取引先、地域、さらには社会までも含めた多くの関係者の皆様に、この場を借りて感謝を申し上げます。



## 責任施工体制を支える



**ロンプルー防水事業協同組合**  
LONPROOF



**ロンシール工業株式会社**  
LONSEAL



ロンシール工業株式会社 代表取締役社長 **大村 朗** Omura Akira

ロンプルー防水事業協同組合が設立50周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

振り返りますと、1951年の旧国鉄車両火災「桜木町事件」を契機に、防火性に優れる当社の塩ビシート防水が車両屋根に採用されたことが、床材に加えて、防水材メーカーとしても発展するきっかけとなりました。

その後、1957年には建築物に塩ビシート防水が初めて採用されました。さらに1970年の大阪万博では日立グループパビリオンに採用されるなど、当時の最新建築素材のひとつとして注目を集めました。

高品質な防水層を形成するには、材料の品質だけでは成立しません。正確な施工が伴って、初めて完成します。

組合が発立当初から責任施工体制の構築に取り組み、仕様書の作成や、技術・技能の向上および平準化を行ってきたからこそ、今日までの信頼に結びついたと確信しております。

当社は、材料の開発に取り組むなかで、防水性能のみならず、機能面、工法面においても進化を遂げてきました。遮熱性や断熱性など、環境に配慮した性能の付与に加えて、建築関連法規との適合を図りながら、総合的な防水システムの確立を推進しております。

そして現在も、防水事業のさらなる強化を推進しております。新築はもちろんのこと、得意分野である改修市場に向けた新製品の開発に注力し、人員や資金などの経営資源を率先して投入してきました。これからも塩ビシート防水のリーディングカンパニーとして、防水事業のさらなる基盤強化、および品質向上に取り組んでいきます。

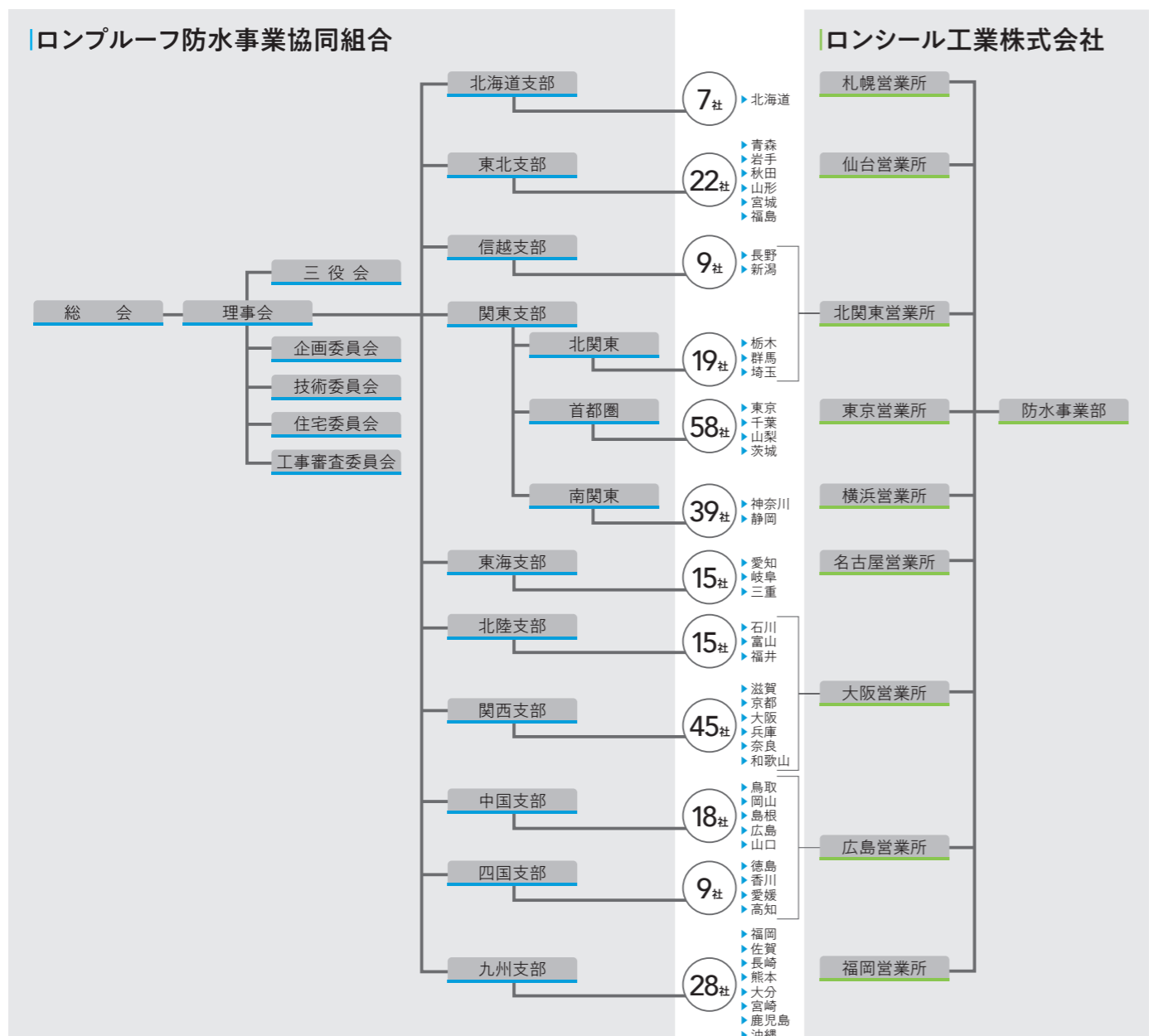
設立50周年を迎えるにあたり、再び施工面積400万㎡を達成し、さらなる飛躍を目指し事業部長を筆頭に、営業、企画、研究、製造部門が一丸となって努力してまいります。関係各位には、今後とも忌憚のないご意見、ご指導をお願い申し上げます。



## ロンプルーフ防水事業協同組合について

<b>所在地</b>	東京都墨田区緑4-15-3 ロンシールビル1F	<b>代表者</b>	理事長 山崎 睦治
<b>設立許可</b>	1971年(昭和46年)8月5日(建設省計画局建設振興課)	<b>事業種別</b>	防水事業
<b>設立登記</b>	1971年(昭和46年)8月20日	<b>出資金</b>	19,550,000円(2020年3月31日現在)
<b>組合員数</b>	284社(2021年4月1日現在) 【内訳】本部組合員178、準組合員82、支部組合員24		
<b>取扱品目</b>	ロンプルーフェース/ロンプルーフシャネツ/ロンプルーフェースリーガン/ニューベストプルーフ/ベストプルーフRS/ベストプルーフシャネツ/ベストプルーフ/ベストプルーフα/ベストプルーフナンネン/ロンプルーフナンネン/ベストプルーフプラス/エルエスプール/ロンレタン		
<b>取引銀行</b>	みずほ銀行/三井住友銀行/三菱UFJ銀行/りそな銀行/商工組合中央金庫/他		

## 組織図



## 役員名簿

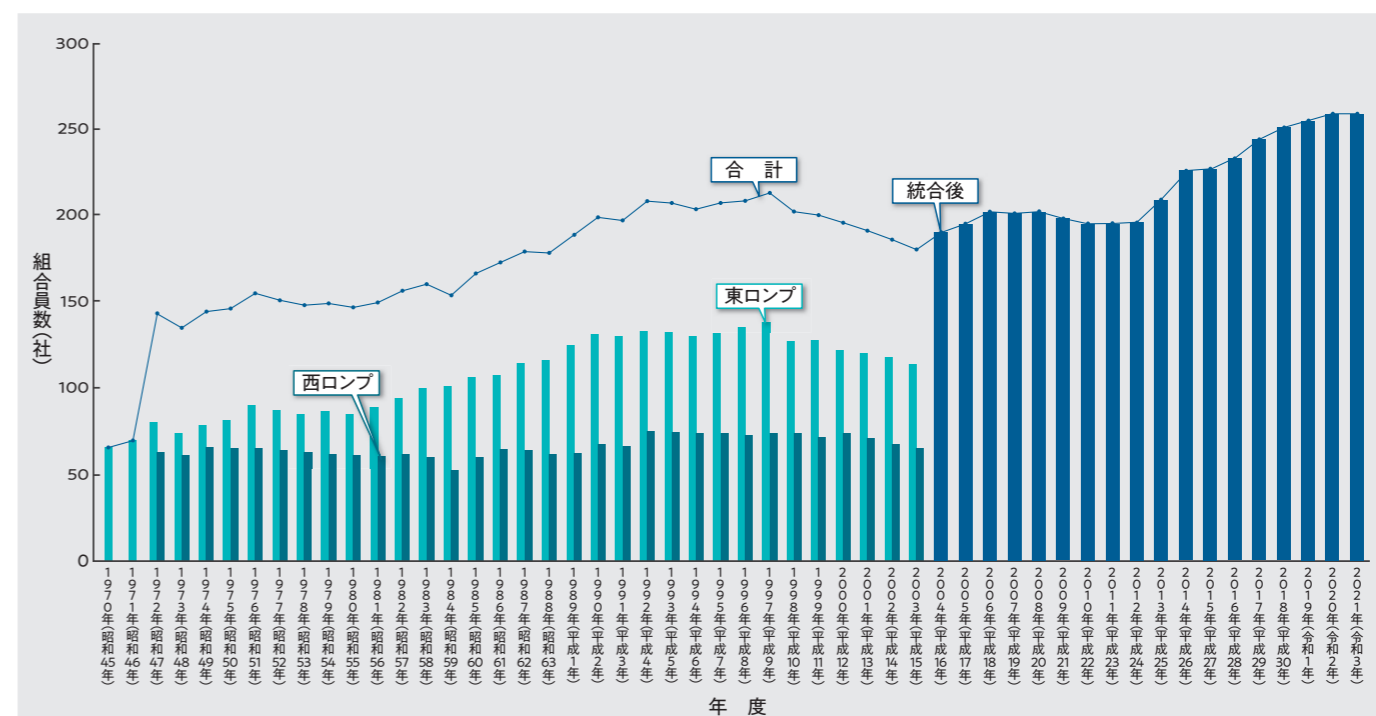
<b>理事長</b>	山崎 睦治	山崎工業(株)
<b>副理事長</b>	堀尾 知由	千代田建工(株)
	濱野 充史	(株)濱建
<b>専務理事</b>	中瀬 雅廣	ロンシール工業(株)
<b>理事</b>	木村 義知	(株)青建防水工業
	阿部 真大	阿部工業(株)
	大澤 伸一郎	松坂屋建材(株)
	曾我谷 智志	日本特殊技研(有)
	奥山 岩孝	奥山化工業(株)
	澤田 洋行	(株)三榮
	中村 實博	(株)共和商会
	久住 呂圭三	(株)ムツミ技研
	下川 茂雄	和光工業(株)
	宇田川 直樹	フルイチ(株)
	日高 義幸	日新興業(株)
	池田 広志	ロンシール工業(株)
	小野 孝	ロンシール工業(株)
<b>監事</b>	川村 純市	(株)高野
	山下 光宏	(株)ロンテク
<b>顧問</b>	大澤 孝至	松坂屋建材(株)

定時総会の様子



2021年4月1日現在

## 組合員数の推移



※支部組合員は除く。組合員数は総会資料より抜粋。

# 1971



1970年に開催された日本万国博覧会(大阪)で日立グループパビリオンに採用されたロンブルーフ

## 誕生。

### 床材から屋根材への挑戦

塩化ビニル樹脂を使用した「ロンブルーフ」の発売に先立って、川口ゴム工業(現ロンシール工業)は床材「ロンリウム」を展開していた。すでに大きなシェアを獲得しており、国鉄車両火災を機にその絶縁性、耐水性が評価され車両屋根材として採用される。その後、本格的に建築用防水材として進化を果たした。大阪で開催された日本万国博覧会のパビリオンにも採用され、当時の最新建材として注目を集めた。日本におけるシート防水の歴史はここからはじまる。

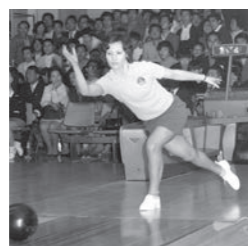


国鉄(当時)の車両屋根材としても採用された

#### A.D. 1971 当時の世相



▲マクドナルド日本初出店



▲ボウリングブーム



▲沖縄返還協定調印

戦後からの脱却、そして経済成長によって大量生産、大量消費社会が到来。1970年の日本万国博覧会(通称大阪万博)以後円高やオイルショック、住宅不足、公害問題等が発生。大量消費社会への見直しや生活環境の改善と充実が切実な課題となった。カップ麺の先駆けとなる「カップヌードル」が日清食品より発売。テレビでは、「仮面ライダー」「天才バカボン」「ルパン三世」などの人気シリーズがスタート。大学卒男子の平均初任給が約4万8000円。

写真提供:共同通信社

### 沿 革

- 1959 川口ゴム工業(現ロンシール工業)社員食堂建物にてロンリウム防水試験施工される(約270㎡)
- 1963 北海道道立寒地建築研究所にてロンリウム防水試験施工
- 1964 旭川市役所正式採用
- 1969 ロンブルーフ発売
- 1970 大阪万博日立グループパビリオンにロンブルーフ防水採用
- 1971 東日本ロンブルーフ防水事業協同組合設立総会を開催 初代理事長に吉村和徳氏就任
- 1972 西日本ロンブルーフ防水事業協同組合設立 初代理事長に和中勝氏就任 川口ゴム工業からロンシール工業株式会社に社名変更
- 1975 シート防水工事業団体連合会発足 吉村理事長初代会長となる 全国防水工事業団体連合会(全防連)に加入 ロンブルーフ JIS A6009 取得 ロンシール工業蒲生工場
- 1977 理事長に吉田幸雄氏就任(東ロンブ)
- 1978 ロンシール工業創立50周年

### シート防水の歴史はここから



寒冷地で防水性・耐久性が証明されたロンブはやがて全国で採用されていった



東ロンブ 初代理事長 吉村和徳氏  
西ロンブ 初代理事長 和中勝氏



1967年にロンリウム防水講習会を初開催。それ以降、定期的に行われる講習会を通じて技術者育成に注力した



当時の川口ゴム工業 四つ木工場(東京都葛飾区)

### 保証制度・責任施工体制の確立

「その中心は技術なんだ。ロンブルーフを一平米売っていくらというこじゃない。十年間もつということがいくらなんだ」——吉村和徳(東ロンブ初代理事長)

1971年(昭和46年)に防水保証制度の責任施工組織として東日本ロンブルーフ防水事業協同組合は誕生した。当初は床材のイメージが色濃く、異端児扱いされたという。しかし、「床材屋の施工は仕上げがきれい」と評判になり、多くの建築計画で続々と採用されていった。



当時のロンブルーフ防水パンフレット



当時は接着工法のみで、ムーブメントに追従できる防水工法の模索が続いた。また、シートのジョイントは重ね継ぎ工法、帯溶接などいずれも溶接棒を使用し高い技量が求められた

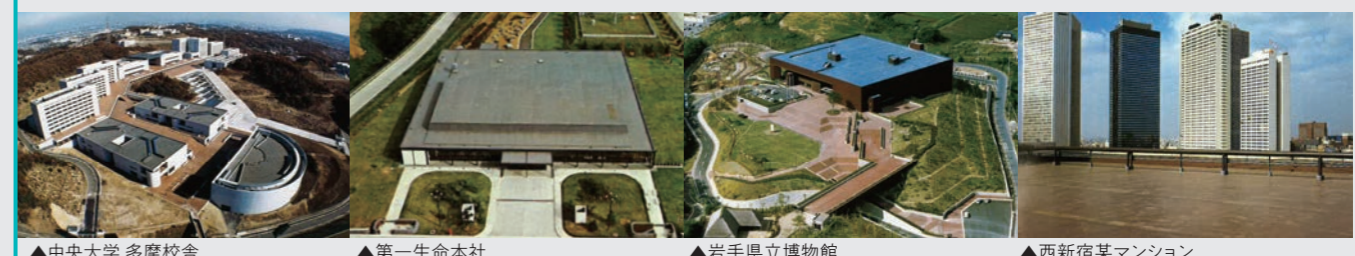
### 川口ゴムからロンシールへ

翌年1972年には西日本ロンブルーフ防水事業協同組合が誕生する。同時に、川口ゴム工業からロンシール工業へ社名が変更された。本格的な塩ビシート防水の幕開けを迎えたのだ。



ロンシール工業創始者 川口鷲太郎氏胸像

#### 当時の主な施工事例



▲中央大学 多摩校舎 ▲第一生命本社 ▲岩手県立博物館 ▲西新宿某マンション

出典:ロンブルーフ防水工事経歴書(1982年発行)

# 1980~

## 確立。 進化するロンプ

革新的な技術開発によりベストブルーフやロンプルーフェースが誕生した

### シート防水のパイオニアとして

1980年代は現在につながる数多くの防水シートや工法が開発された。現在もロングセラーを続ける、ベストブルーフやロンプルーフェースがそうである。また、機械的固定工法(US工法)の確立は、新築市場はもとより改修市場獲得に大きく貢献した。オイルショックを経て建築業界でも省エネ性能が要求されるようになり、さらなる展開として断熱工法も確立された。驚異的な開発ペースで競合他社陣営を圧倒し、シート防水のパイオニアとしてリードしていった。



今につながるベストブルーフや機械的固定工法が開発された時代

### A.D. 1980~ 当時の世相



▲ロス五輪開催(1984)



▲昭和から平成へ(1989)



▲ウィンドウズ95発売(1995)

時代は昭和から平成へ。土地や株式等の資産価値急騰からバブル経済と呼ばれる好景気を迎える。建設業の受注環境は一気に好転し、日本全国で建設ラッシュが起こる。しかし、バブルがはじけると一転、長い冬の時代に。オフィスではコンピューターが普及し、ファミレスやコンビニといった24時間店舗も一般的になっていく。

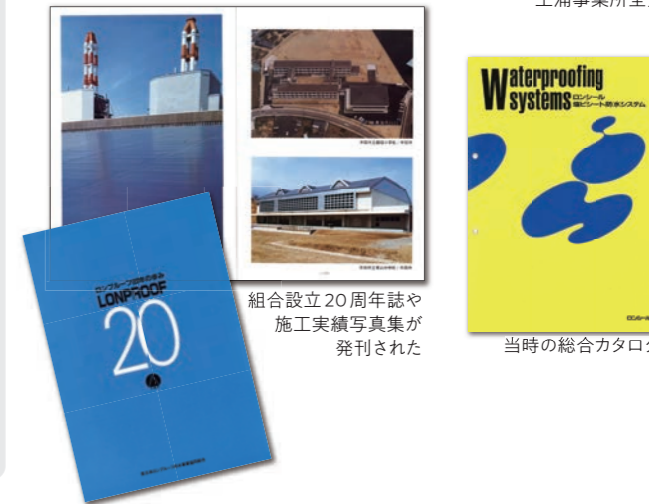
### 沿 革

- 1980 ロンプレン発売
- 1983 JIS工場変更 ロンシール工業土浦工場へ  
ベストブルーフ発売 1.3mm厚
- 1984 ベストブルーフ機械的固定工法(US工法)発売
- 1986 設立15周年記念総会  
ベストブルーフHG発売
- 1987 建設省建設経済局長賞受賞  
保証書・完了報告書ワンライティングシステム採用
- 1990 ベストパース発売
- 1991 設立20周年記念総会 建設省建設経済局長賞受賞  
社団法人全国防水工事業協会(全防協)に加入  
ベストラング/ベストピアブル/ベストテラス発売
- 1992 理事長に加茂善十郎氏就任(西ロンプ)  
JIS A6009廃止、JIS A6008に統合
- 1993 ロンプルーフェース発売
- 1994 ベストブルーフアルファ発売
- 1996 設立25周年記念総会 建設省建設経済局長賞受賞  
ISO9001認証を塩化ビニル加工業界で国内で初めて一括取得
- 1998 ベストブルーフ発売 1.5mm厚/エルエスプール防水発売
- 1999 東京都知事より永年にわたる技能士養成を評価され感謝状を受賞  
ベストブルーフエコ発売

### シート防水のパイオニアとして



ロンシール工業  
土浦事業所全景

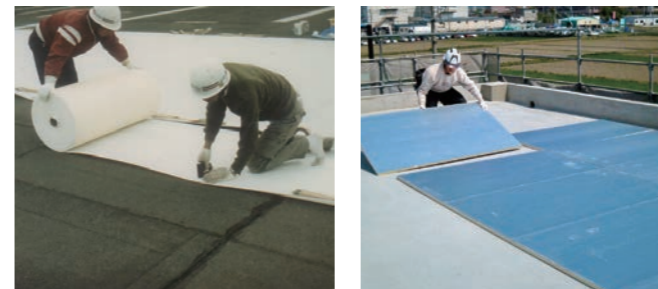


組合設立20周年誌や  
施工実績写真集が  
発刊された

当時の総合カタログ

### 機械的固定工法の登場

これまでの接着工法から機械的に防水シートを固定していく工法が確立された。これによりムーブメントへの追従が可能となり、長年の課題をついに克服した。さらに、既存防水層への「かぶせ工法」により改修市場にも本格的に参入していく。



機械的固定工法が確立された当時の改修現場

その後断熱工法にも展開していった

### ジョイント処理の向上

80年代に入ると溶剤溶着でシートを接合することが可能になる。また、液状シール剤の登場で従来の溶接棒と比べ、より簡易的となった。このほかにも弾性の接着剤「ブルーフセメントA」が登場し、下地クラック追従性に優れ施工品質の向上に貢献した。



溶剤によるシートジョイント溶着処理

溶接棒から液状シール剤による2次シール処理が可能となった

### 抜群の水密性 スイミングプールにも

抜群の水密性を誇るロンプは、その活躍の場をスイミングプールや水槽でも発揮するようになった。主に教育施設のスイミングプールにおいては改修時のスタンダードとなっていく。



### 防水シートの開発ラッシュ

サンドイッチ構造で寸法安定性に優れたガラス不織布を積層した「ベストブルーフ」。このほかに絶縁シートと一体化した「ベストブルーフa」、同じくシート裏面に緩衝材を付与した「ベストブルーフプラス」が誕生。他社陣営にはない防水シートを続々と開発していった。



ベストブルーフプラス

# 2000~



## 飛躍。 そして、環境対応へ

環境対応型防水システムとして、太陽光パネル設置工法や屋上緑化ロンググリーン仕様が開発された

### 業界初! 年間施工面積400万㎡を達成

2004年、東西のロンプ組合が統合し、新生ロンプ組合が誕生した。同時に金属デッキ屋根下地に対応したSD工法の開発により大型生産施設や商業施設などで施工実績を伸ばしていった。そして、改修市場でも圧倒的な支持を得たロンプ組合は2013年に業界初となる年間426万㎡の施工面積を記録した。



東西統合後に初めて開催された第35回本部総会(2005年・京都)

#### A.D. 2000~ 当時の世相



▲日韓ワールドカップ開催(2002)



▲京都議定書発効(2005)



▲東日本大震災(2011)

地球温暖化やオゾン層破壊など環境問題がグローバルで議論される「環境の世紀」へ。持続可能型社会の実現が世界的な課題になる。東日本大震災を機に、太陽光や風力、地熱といった再生可能エネルギーの導入が促進された。生活環境ではシックハウス症候群やアスベスト被害が社会問題化する。

写真提供: 共同通信社

### 沿 革

- 2000 理事長に堀尾光好氏就任(東ロンプ)
- 2001 設立30周年記念総会 国土交通省総合政策局長表彰 ベストブループラス発売
- 2002 ロンググリーン・箱庭名人発売・劣化診断システム開発
- 2003 誘導加熱による機械的固定工法(UD工法)発売
- 2004 東・西の組合が統合し、ロンブルー防水事業協同組合が誕生 企画委員会・技術委員会・工事審査委員会発足 ベストブルーシャネツ発売・SD-EZ工法発売
- 2006 理事長に大澤孝至氏が就任(堀尾光好氏は顧問に)
- 2007 ニューベストブルー発売 ロンシール工業ISO14001の認証取得
- 2009 長期防水保証システム発売
- 2010 太陽光パネル設置工法発売
- 2011 40周年記念総会の開催 住宅委員会発足
- 2013 年間施工面積426万㎡(最高記録)
- 2014 理事長に山崎睦治氏が就任(大澤孝至氏は顧問に)
- 2015 会報誌「ロンプジャーナル」創刊 テレビバラエティ番組「和風総本家」でロンシール工業土浦事業所が放映
- 2017 ベストブルーRS発売 5期連続で施工面積「400万㎡超え」を達成
- 2018 ロンシール工業創立90周年
- 2020 ロンシール工業土浦事業所に研究開発拠点「イノベーションセンター」完成
- 2021 設立50周年記念式典開催(予定)

### 塩ビシート防水・国内最大の組織へ



第3代理事長 堀尾光好氏

第4代理事長 大澤孝至氏

第5代理事長 山崎睦治氏



ロンググリーン「箱庭名人」施工事例

### 登場! UD BOX

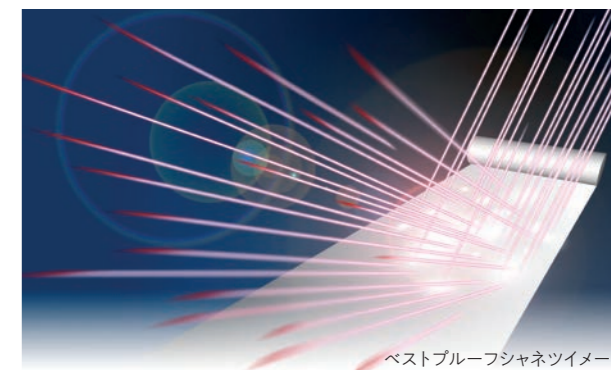
機械的固定工法用の施工ツールとして「UD BOX」を開発した。この誘導加熱装置は、加熱ホルダーと電源ユニットが一体化されており、施工性の向上を実現した。



### 国内初! 遮熱防水工法の開発に成功

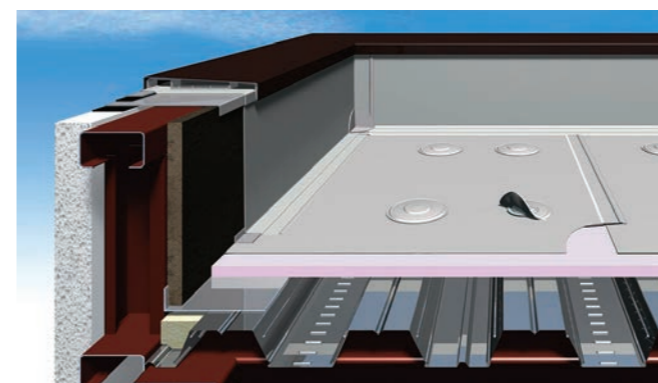
2004年、ロンシール工業技術陣は、ロンプ組合技術委員会の全面的なバックアップを得て、国内初となる遮熱性能をもたせた防水シートを開発した。これにより、屋上面の温度上昇を抑制し、かつ防水層の長寿命化を図る画期的な「遮熱防水工法」を世に送り出したのだ。

▶シートや専用資材の高耐久化により最長15年の「長期防水保証システム」も確立。改修サイクルの長期化などで環境負荷を低減し、建物資産価値の向上を実現した



ベストブルーシャネツイメージ

### SD仕様 耐火デッキ屋根下地工法



耐火デッキ下地への断熱シート防水を可能とした。これにより屋根全体の軽量化を図れ、工場や倉庫、ショッピングモールなどで幅広く採用されていく

### PV支持架台 太陽光発電パネル工法



太陽光発電パネルの設置と同時に防水施工が可能に。外断熱やメンテナンス性、コストパフォーマンスなど、それぞれ特長をもつ支持架台が太陽光パネル設置をサポート



# 2021 未来へ。

高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設全景(写真提供:株式会社高田松原)

## 組合設立から50年のいま

2020年、全世界に感染が拡大した新型コロナウイルス・COVID-19。その影響により建設業界でも工事計画の中止や延期が相次いだ。今もなお先行きの見えない日々が続いている。そのなかで着実にあゆみを進めるのが、2011年に発生した東日本大震災からの復興だ。「奇跡の一本松」でも知られる岩手県陸前高田市にある東日本大震災津波伝承館や東北各地の公共施設や復興住宅など、多くの復興プロジェクトでロンプは貢献している。



施工現場でもマスク着用など感染対策が講じられている

## 2011 3.11 復興を支えるロンプ



東日本大震災津波伝承館・道の駅高田松原



▲釜石市大町復興住宅1号\*



▲釜石市天神復興住宅\*

2011年に発生した東日本大震災よりちょうど10年を迎えた。震災復興のシーンにおいてもロンプは数多く採用されている。

※撮影:新建築社写真部

## ロンプ・イノベーションの現場

ロンプ防水事業協同組合は次の10年、50年、そして100年先を見据えて常に挑戦を続けています。その原動力のひとつが、3つの委員会が生み出すイノベーションです。組合員とロンプ工業のメンバーから構成される企画委員会、技術委員会、住宅委員会の挑戦をご紹介します。



2020年に土浦事業所内に竣工したイノベーションセンター

## 情報発信。

### 拡販支援や情報発信を担う企画委員会

2014年よりスタートした技能士育成プログラムでは、人材育成の一環として施工動画DVDなどを制作し、施工初心者にもわかりやすく、手軽な教育ツールを発信。また、全国各地の組合活動や最新の施工事例を紹介する会報誌「ロンプジャーナル」、設計士や施主向け営業ツールの施工事例集「イズム」を定期発刊し、積極的に情報発信を行っている。



初心者にもわかりやすく解説したDVD・テキスト「はじめての防水編」



会報誌「ロンプジャーナル」と施工事例集「イズム」



### 製品開発を強力にサポートする技術委員会

新製品や新工法の開発では、実際の施工現場で行われるフィールドテスト、そしてそのフィードバックが欠かせない。その役割を担うのが技術委員会だ。また、現場の声を吸い上げ、あらたな施工ツールにつなげる役割も果たす。その成果として、UD工法の施工品質を向上させる「フォームレスドライバ」やUDディスク検知センサーを搭載した「UD BOX III」など革新的な施工ツールの開発や改良がある。



安定した施工品質を確保する「フォームレスドライバ」



ディスク検知センサーを搭載し確実な施工を実現可能とした「UD BOX III」

## の製品・技術の向上。

## 共有。技術力の

### 日本全国均一の品質を守る住宅委員会

毎年10,000棟以上の実績をあげる住宅分野。多くのハウスメーカーへ技術提供するなかで求められるのは、北から南まで、日本全国均一の施工品質だ。住宅委員会をコアとして毎年、全国の拠点で技術研修や講習会を開催している。また、住宅委員会では新仕様の検討はもちろん、仕様改定などのアップデートされた技術情報をタイムリーに発信し、共有する体制を構築している。



全国で開催される技術講習会や施工指導。技術力の共有が確かな品質につながる





ロンブルーフ防水事業協同組合50周年記念座談会

# 次世代が語るロンプと塩ビの近未来

当組合は、1971年に東日本ロンブルーフ防水事業協同組合として設立し、今年で50周年を迎えることになりました。関係各位のご支援ご協力により、塩ビシート防水の国内最大組織に発展することができました。

現状に満足することなく、これからも常に新しい道を開拓してまいります。その中心的役割を担う理事5人、それを支えるロンシール工業(株)の3人が集まり、組合の現状と将来を語る座談会を開催しました。

左から

- 小野 孝  
ロンシール工業(株)  
防水事業部 防水営業部長
- 鈴木 悦之  
ロンシール工業(株)  
防水事業部長
- 中野 一郎 (司会者)  
ロンシール工業(株)  
防水事業部  
事業企画部長代行

◆開催  
ロンシール工業(株)本社  
2020年12月16日(水)  
※当日は、新型コロナウイルス感染症対策徹底のため、Web会議システムを利用したリモート形式にて行いました。  
※記事中の役職名は座談会当時のものとなります。

## 1 全国の改修市場で成長

**中野 (司会)**：塩ビシート防水をどんなところで採用しているか教えてください。下川さんいかがですか。

**下川**：当社が事業を展開している地域の特性への対応に優れています。それは天候です。当社は鳥根県に本社を置き、鳥取県、広島県で営業展開しています。山陰地域の冬場は降雨量が多く、下地の乾いている時間帯は少ないのですが、それでも防水工事をしなければなりません。ほかの地域と比較にならないくらいの降雨量だと思います。そうすると、湿潤下地でも施工が可能な機械的固定工法の採用が多くなります。(一社)日本防水材料協会の

統計によると、シート防水の年間施工面積は全体の3割くらいですが、当社における、塩ビシート防水の機械的固定工法の採用率は年間6~7割になります。そう考えると、地域の特性によって採用率は大きく変わってくるのではないのでしょうか。

**中野**：確かに降雪量の多い北海道や東北、北陸でも、機械的固定工法の採用が多いです。奥山さん、大手建設会社も同様の評価でしょうか。

**奥山**：関東圏、近畿圏の都市部では、新築工事においてアスファルト防水が長年の実績にもとづき、根強い信頼があります。そのなかで塩ビシート防水は、改修工事でも実績を重ねてきました。当社では、新築工事はアスファ

ルト防水、改修工事は塩ビシート防水やウレタンゴム塗膜防水を提案してきました。ロンシール工業の塩ビシート防水は、機械的固定工法、接着工法、遮熱工法など種類が豊富ですから、お客様の多様なニーズに応えることが可能です。

**宇田川**：それは都市部に限りません。香川県における現在の工事量は、8割以上が改修工事だと思われます。私どもが現場調査を行った後に建設会社や設計会社へ適切な防水工法を提案すると、採用される率が高まります。具体的には、平場は塩ビシート防水の機械的固定工法で、基礎回りや設備機械が配置されていてシート防水が困難な箇所は、ジョイント部の専用プライマーがありますから、ウレタンゴム塗膜防水との併用をパッケージで勧められています。適材適所の対応で、無理なく品質が確保できます。

**中野**：改修工事に適した工法をこれからも開発していきます。ほかの防水材料を含めた適材適所での提案のなか、塩ビシート防水が改修市場でどのように生き残っていくのかというのは大きな課題です。さて、塩ビシート防水の工事業団体の最大組織として当組合は成長してきました。その強みは何だとお考えでしょうか。大澤さんからお願いします。

**大澤**：防水工事会社にとって、東証二部上場の大手メーカーと取引しているという信用力が大きいのが一つです。全国展開していますから知名度も高い。また、組合員数が多いので、組合活動に参加すれば、さまざまな地域の防水工事会社と情報交換できるメリットがあります。

**曾我谷**：当社の顧客のなかには全国展開しているハウスメーカーがあります。北は北海道、南は沖縄まで全国どこでも均一な品質を提供できる工事会社のネットワークがあることは、顧客の信頼につながっています。

**奥山**：組合員が全国の現場で活躍していますから、「ロンブルーフ」の名前が各地に知れわたっています。さらに広告宣伝などを通じて知名度が高まっていますから、それも信用力になっています。ロンシール製品一本で商売をしている組合員が多いのが特徴だと思います。

**大澤**：あとは組合員の“ロンプ愛”ですかね。加入歴の



大澤 伸一郎氏  
松坂屋建材(株)代表取締役社長。2014年に理事就任。企画委員長も務める

長い組合員が多いです。組合の看板を背負っていることに誇りを持ち、工事に真剣に取り組んでいる印象を強く感じます。

**中野**：嬉しい限りです。皆様の熱い想いがあったからこそ、50年間続けてこられたのだとよくわかりました。

## 2 三つの委員会で課題解決

**中野**：皆様は住宅委員会・企画委員会・技術委員会でご活躍されていますので、それぞれの活動状況について教えてください。住宅委員会の曾我谷さんからお願いします。

**曾我谷**：全国にある認定施工店会を通じて変更された各地の仕様の情報を「認定施工店会ニュース」に掲載して発信し、共有しています。施工品質の平準化は、確かな品質の防水層を安定供給していくうえで最も重要ですから、今後も情報共有のため継続していく必要があると見えています。このほか、認定施工店向けの講習会で、新規工法の取扱いや既存工法の施工上の留意点を改めて確認することで、施工品質のさらなる向上を図っています。

**中野**：期待しています。次に企画委員会について大澤さん、いかがですか。

**大澤**：組合工法の拡販を目的に、キャンペーンの企画立案や入職者向けの施工動画の制作など、幅広く活動しています。組合員が中心となって意見を出し合っています。毎回、たくさんのアイデアが出てきますので、委員のものすごい熱量を感じています。

**中野**：頼もしいですね。最後に技術委員会の現状を教え



曾我谷 智志氏

日本特殊技術代表取締役会長。2014年に理事就任。住宅委員長も務める

管など排水設備と連携させた解決方法を模索しています。  
**下川**：断熱材の厚さに関しては、50mm以上になるとビスの強度を高める必要があるでしょう。例えば、厚み100mmになると断熱材の挙動に伴い、ビスを斜め上に引っ張る力が強くなるのではないかと心配しています。また、台風対策への解決では、UD(ディスク先付け)工法よりも、US(ディスク後付け)工法が耐風圧性能に優れますから、US工法を積極的に採用することになるかもしれません。機械的固定工法では、固定強度の耐力確保が一つの回答だと思います。メーカーと相談しながら対応していく必要性を感じています。かつてロンシール工業は、他社に先駆けて遮熱シートを世に送り出しました。その開発力に今後も期待しています。

**鈴木**：どこよりも早く、ユーザーに自信をもって使っていただける製品を提供するのがメーカーの使命です。塩ビシート防水材のトップメーカーとして、常に時代が求める製品を最初に世に出さなければいけないという責任感で、毎日頭をフル回転させている次第です。

**宇田川**：2004年に遮熱シートが発売された当初、製品の素晴らしさに惚れ込んで、なんとか採用してもらいたいという熱意で提案し続けた時期がありました。当時はオリジナル製品を扱っているということが、営業における自信となりました。再び、あの頃のように提案できる技術の誕生を待ち望んでいます。一方で、既存技術の改良にも期待しています。それは機械的固定工法で施工時に発生する穿孔音です。マンションの改修工事では、居住者に工事期間中の不都合を事前に説明していても、実際に工事がはじまると苦情につながる場合があります。とはいえ、下地処理が最低限で済み、工期短縮が図れる機械的固定工法のメリットは大きいですから、接着工法に変更するよりも機械的固定工法を改良することで解決していきたい気持ちは強くあります。さらなる開発を楽しみにしています。

**鈴木**：穿孔音の問題に対しては、1990年半ばに低振動ドリルを開発しましたが、「駆動力が足りず塩ビシートが絡まって使い物にならない」とお叱りを受けました。現在は、高圧エア釘打機を組合員に貸し出して、ビス穿孔時の音

をドリル使用時よりも低減させることで対応しています。音を完全になくす方法は、今の技術では実現していません。高圧エア釘打機の採用は、現時点における最適解の一つです。消音と低音のニーズには、開発の優先順位を決めながら取り組んでいます。

**小野**：市場ニーズが常に変化していますから、それに応えられる製品開発を継続することが必要ですね。

### 3 施工面積拡大に向けた商流

**中野**：塩ビシート防水の今後の需要動向についてご意見願います。

**大澤**：塗装工事会社が防水工事に参入し、ウレタンゴム塗膜防水の工事を受注するようになって久しいですが、われわれ防水工事会社も一括で受注して、塗装工事もこなすようになってきておりますし、工種に関係なく、元請として工事を受注することも増えてきております。こうしたなか、塩ビシート防水の施工面積を伸ばしていくためには、設計事務所や建設会社の仕様書に工法指定される活動をしていく必要があります。仮に塗装工事会社が一括工事で防水工事を受注したとしても、われわれ塩ビシート防水を扱う防水工事会社に仕事が回ってきます。受注先がどこであっても、防水工事は塩ビシート防水にたどり着く商流を作っていく必要性を感じています。

**奥山**：辛口でいこうと思います。まずシート防水の需要は落ち着きました。ですから、これからは新しいことを取り入れていく必要があります。これまでの話のなかで、環境、騒音などさまざまな問題点が出てきました。さらに技能員不足が深刻です。その解決策の一つは、施工の省人化です。シート防水は他の防水工法と比較して、少ない人数で広い面積を施工できる優位性があります。さらに機械化施工を進化させていけば、防水業界で確固たる地位を築けるかもしれません。

**宇田川**：技能員の育成は重要です。若い技能員を対象に、塩ビシート防水の施工を学ぶ養成機関を作って、担い手確保に力を入れていく必要があります。

**大澤**：企画委員会でもその案は出ています。企業単体で技能員を育成するには限界がありますから、組合のヒト・



奥山 岩孝氏

奥山化工業株式会社代表取締役社長。2014年に理事就任。技術委員長も務める

モノ・カネを総合的に活用できれば効果的だと思います。それが実現できれば、組合への帰属意識が強まります。

**奥山**：今回の座談会に参加するにあたって、個人的に組合員数社にヒアリングをしたところ、組合に養成機関があれば受講させたいという意見が多くありました。初めて触れる工法がロンシールブランドならば、技能を習得してもらうことで、塩ビシート防水工事においては、ロンシールブランドの扱いを得意とする技能員が全国に広がっていきます。そうなれば、現場で製品の良さを伝える広告塔になってくれますし、元請側にロンシールブランドの施工ができる人材は豊富にいるという安心感を与えます。知名度が高まっていけば、組合加入を希望する防水工事会社が増えていくと思います。

**宇田川**：それだけではありません。今、現場では外国人技能実習生が増えています。当社ではシーリング工を採用しています。技能習得に意欲的な彼らの姿を見ていると、仕事の幅を広げるために塩ビシート防水の技能も身に付けてほしいと思うときがあります。技能実習制度に、塩ビシート防水が追加されれば、技能員不足解消の一助になります。

### 4 ブランド力を次代に継承

**中野**：組合のブランド力について、どのようにお考えでしょうか。

**下川**：組合の目指す方向性が組合員にどこまで浸透しているかが、ブランド力の向上につながると思います。先



宇田川 直樹氏

フルイチ(株)代表取締役。2016年に理事就任。四国支部長も務める

ほど大澤理事から“ロンプ愛”という言葉が出てきましたけれども、それも一つの回答です。そのなかで、メーカーと組合の協力関係が強固であり、尊重し合いながら、目指すべき方向へ共に進んでいくことが、これからの発展につながっていくと思います。

**小野**：Webサイトからの問い合わせが増えています。この組合に問い合わせをすれば国内のどの地域でも腕の良い防水工事会社を紹介してもらえる、という信用を積み重ねていくことで、受注拡大につながるのではないのでしょうか。その仕組みづくりがこれからは必要で、Webサイトの積極的な活用が重要になってくると考えています。

**鈴木**：防水工事会社がロンシール製品と他社製品を比較するとき、品質や扱いやすさ、総合的なコスト、材料搬入などの物流サービスも含めた対応で評価します。その基準は、技術力、実績、過去の苦いクレームを含めた知識と経験です。比較検討した結果、ロンシール製品の採用を決めた組合員は、その実力をいかにユーザーに提案するか懸命に考えます。そして、困ったときはメーカーに相談して一緒になって解決し、ようやく高品質の防水層が完成します。その品質こそがブランド力です。そして技能員の施工力も当然ブランド力です。ですから、技能員育成も重視していかないと、本当のブランド力は構築できないと考えています。

**奥山**：さすが鈴木事業部長です。組合員へのヒアリングのなかでも、歴史の長さや実績をクローズアップしつつ、新しいことに挑戦してトップブランドとして確立させる、

という意見がありました。まさにその通りで、理想的だと思いました。

**中野**：それでは、これまで築き上げてきたブランド力を活かして、メーカー側は今後の拡販や製品開発をどのように展開するお考えですか？

**鈴木**：技術委員会から組合専用仕様の充実が求められています。そのなかで、長期保証システムの開発・改良が挙げられています。

**小野**：すでに長期保証システムを組合専用工法として上市していますが、発売当初と比べると現状にマッチしていない部分が出てきていると聞きます。建築物の構造、高さ、立地、下地状態、断熱材の種類などの条件によって保証内容は変わってきますから、それを解決したうえで新たな組合専用工法として発表すれば、組合員の満足度も向上すると思います。

**下川**：長期保証システムに関しては賛否両論あります。現行は限られた組合員だけで取り組んでいるのが現状です。国が建築物の長寿命化を政策として掲げているので、方向性としては間違っていないと思います。ただ、改修工事では既存防水層の劣化状態が物件によって異なりますから、一律に対応できる長期保証システムの開発・改良は一筋縄ではいかないでしょう。必ずしもゼロから構築し直さなくてもいいので、既存工法を見直すことも一つの解決策と考えます。

**小野**：長期保証システムの開発・改良については、既存工法の見直しや適用条件などの運用変更に取り組んでいく方がより現実的かもしれませんね。

## 5 組合活動への情熱が発展の原動力

**中野**：貴重なご意見を各委員会で反映していただいて、組合活動を活性化していくことができれば、さらなる発展に期待と希望が持てます。最後に、組合の将来像について聞かせてください。

**宇田川**：コロナ禍で新しい生活様式が浸透してきました。これをきっかけに数年をかけて世界的に建物への要求や働き方が変化していくでしょう。防水業界も、これまでの慣習のままで良いのか考え直す時期を迎えています。変

化が必要だと思いながら暮らしています。

**大澤**：優れた材料がなければ高品質の防水層は作れませんし、施工が伴わなければ材料がどんなに良くても雨漏りが発生します。材工が一体となることで、初めてエンドユーザーに商品として届けることができます。その良きパートナーがロンシール工業だったと思います。これからも一緒に成長していきたいと思っています。

**下川**：50周年を迎えたことは、次の50年のはじまりです。メーカーと施工店は車の両輪だとよく表現されます。実際には組合を含めた三輪ですが、全ての輪が前へ向かって進んでいけるように、協力関係を継続していけることを願っています。これまで、工期の長い現場や難易度の高い現場も一緒になって乗り越えてきました。感謝すると共に、できる限りの努力をこれからも続けていきます。

**曾我谷**：組合に加入していれば、量、質共に仕事の心配がないと思ってもらえる組織を目指したいと願っています。顧客のハウスメーカー各社は、さまざまな商品やサービスを提供しています。これらに応えるために、50年間蓄積してきた技術を結集させて、塩ビシート防水のパイオニアとして、社会的責任を果たしていければと思っています。

**奥山**：某電力会社原子力発電所の屋上改修工事において、大地震に対する耐震と軽量化、そして強風に対する耐風速・耐風圧、環境面では廃棄物を出さないの三点が評価され、ロンシール工業の機械的固定工法が採用されまし



下川 茂雄氏

和光工業(株)代表取締役社長。2014年に理事就任。中国支部長も務める

た。これは、日本のエネルギーを守るという社会的使命の一端を担っていることであり、それだけ誇れる実績と言えます。こうした社会的責任に応えていくためにも、今後、技能員不足に対する省力化工法、集中豪雨や大型台風などの災害対応工法などの開発に挑戦していかなければなりません。組合とメーカーが知恵を出し合い、組合と防水業界の発展のために、全力で頑張っていきます。

**中野**：組合を盛り上げていこうという情熱が、50年間、組合が継続・発展してこられた原動力だと改めて感じました。この先も、皆様と共に発展していけるよう尽力してまいりますので、これからもよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。



鈴木 悦之氏

1986年ロンシール工業(株)入社。2018年より防水事業部長



小野 孝氏

1992年ロンシール工業(株)入社。2020年より防水営業部長



中野 一郎氏

1997年ロンシール工業(株)入社。2020年より事業企画部長代行

# Project View & Voice

## 施工実績 & 建築家インタビュー

最新デザインの建築から大規模なリニューアル計画まで、幅広く  
ロンプは採用されています。  
その採用施工事例と建築家のロンプに期待する「声」をご紹介します。



公共施設

東日本大震災津波伝承館・道の駅高田松原(岩手県)

写真提供:株式会社高田松原



公共施設



防府市公会堂(山口県)

撮影:新建築社写真部



集合住宅

釜石市大町復興住宅1号(岩手県)



教育施設



国立大学法人  
千葉大学るのほな同窓会館  
(千葉県)



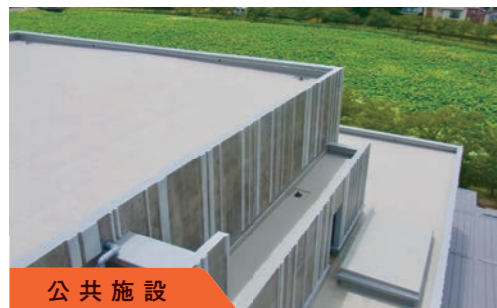
教育施設

公立大学法人都留文科大学 新講義棟(山梨県)



公共施設

島根県立産業交流会館・くにびきメッセ(島根県)



公共施設

市民交流施設 高田城址公園オーレンプラザ(新潟県)



環境対応

個人邸太陽光パネル設置工法例(石川県)



生産施設

YKK株式会社 ファスナー専用機械部品工場(富山県)

写真提供:北日本新聞社



医療・福祉施設

山梨県子どものこころサポートプラザ(山梨県)



商業施設

ヨドバシ梅田タワー(大阪府)



生産施設

高座クリーンセンター(神奈川県)



公共施設

千葉県警察勝浦警察署(千葉県)

撮影:栗原宏光



公共施設

柏崎市役所庁舎／柏崎市文化会館アルフォーレ(新潟県)



木造

行田市忍・行田公民館(埼玉県)



生産施設

加工機器メーカー工場(神奈川県)



環境対応

株式会社中筋組本社(島根県)



木造

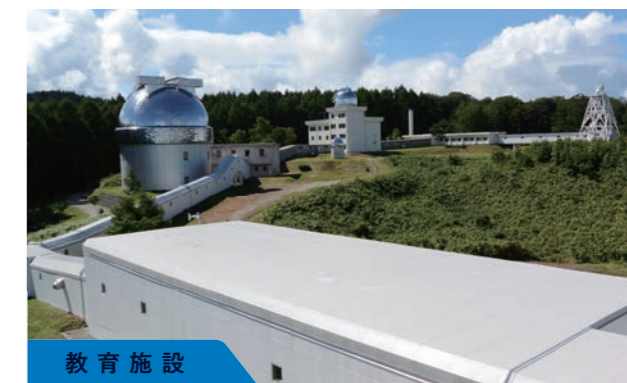
マルホン福岡ショールーム(福岡県)  
撮影:水崎浩志



商業施設



レクサス周南  
プレゼンテーション  
ルーム(山口県)  
撮影:太田拓実



教育施設

京都大学 大学院 理学研究科附属 飛騨天文台(岐阜県)



生産施設

山下印刷紙器株式会社 鈴鹿工場(三重県)



ロンブルーフ防水事業協同組合設立50周年記念 建築家インタビュー

## 軽量かつ寒冷地での実績と評価で塩ビシート防水を選択 「特別養護老人ホーム桜木園」を通して

インタビュー：山雄和真氏

シーラカンズアンドアソシエイツに在籍していた山雄和真氏、ワイル・アル・アワー氏、寺本健一氏の3人のパートナーによる建築設計事務所 waiwai。ドバイと東京を拠点に、世界各地で都市開発からインテリアまで幅広く活動しています。今回は山雄氏にご登場いただき「特別養護老人ホーム桜木園」を通して、塩ビシート防水を選んだ理由をお聞きしました。

### 介護職員の労働環境への配慮

——「特別養護老人ホーム桜木園」の概要をお聞かせください。

施主は社会福祉法人桜木会で、青森県むつ市を中心に数十年にわたり老人福祉施設を運営されています。そのなかで40年ほど前に建てられた「桜木園」の建て替え計画があり、桜木会の本部や市役所が近隣にある中心街に敷地を移しました。コミュニケーションの促進や街のシンボルになるなど、街の活性化の一助になるよう考えました。

具体的には、入居者の快適性をもっとも考慮しなければならないのですが、そのためには、職員の方の負担が少なく、気持ちよく働いていただける環境をつくらなければならないということがわかってきました。介護職員の方の労働環境はよいとはいえません。改善が必要な状況です。

また、介護保険法によって特別養護老人ホームの職員数が決められています。ここは10人1組のユニット型で、それぞれ個室があり中央にリビングを配置するという国が推奨する形なのですが、この1ユニットに対して職員は1人+αしか付けられません。さらに夜間では2ユニットを1人で見るという勤務体制にならざるを得ない状況です。

まずは、この状況に対応したプランを考えなければなりません。そこで、2つのユニットの付け根にスタッフステーションを設けました。しかも、ほかのユニットの気配を感じられる緩やかな角度でつなぐことを考えました。さらに、隣接する別の2つのユニットへの夜間の応援を考慮して、各ユニットのスタッフステーションを近づけるため放射状の平面を考えました。そのほかに特別浴室の配置も重要です。特別養護老人ホームでは特別浴室への移動がもっとも労力がかかります。上下移動では負担がかかるので、各ユニットと同一平面に置くことにしました。結果、2ユニットが2セットで4つのウイングを形成し、さらに特別浴室のウイングを足して5つのウイングになり、桜木会という法人名称も合わせて、5つの花びらがある桜をモチーフとしたプランができました。

### 軟弱地盤での軽量化でシート防水を採用

——この施設でシート防水を採用した理由をお聞かせください。

桜の花びらをモチーフとした複雑な形状ですので、施工性やコストを考えるとシート防水が適していました。また、地盤がよくなく杭を打っていますが、それでも建物全体を軽くしたく鉄骨造を採用し、さらに屋根もできるだけ軽くしたいということがありました。コンクリートを打たないで耐火デッキとシート防水の組み合わせを探していてロンシールにたどり着いた次第です。長期の積雪でも雨漏りせず積雪寒冷地での実績も長く評価も高いということもありました。

そのほかにも、今回は断熱性能が高い硬質ウレタンフォームを採用しましたが、断熱性能をいろいろと選べるのもメリットですし、天候に左右されずに短工期で仕上げていただ

いたので、たいへん助かりました。

### 各メーカーを横断する情報発信を期待

——これからのシート防水に求めるものはありますか。

今回の「特別養護老人ホーム桜木園」の経験から、音の問題を改めて考えました。特に雨音の処理です。今回は音響の専門家に入ってください、屋根材、防水材、断熱材、デッキ材、天井材などを選んで遮音性能を出して大丈夫と判断いただいたのですが、シート防水に吸音や反射音性能があるのかなど、音のデータもあるとわれわれ設計者としてはたいへん助かります。

建築にはいろいろな建材が入っています。それぞれの建材はそれぞれの性能数値を持っているのですが、組み合わせたときに性能がどうなっているのかという情報がありません。50年という歴史を持つロンシール工業やロンブルーフ防水事業協同組合が各メーカーをつなぎ、性能などの情報をまとめてもらい発信するというのは、建築業界としてもよいことだと思いますし、結果的には建築を使用する多くの方に還元できると思います。

ロンブルーフ防水事業協同組合が設立50周年を迎えたということで、たいへん素晴らしいことだと思いますし、培われた技術や実績を今後も積み上げていただき、社会に貢献していただければと思います。

(2021年2月22日、waiwaiにて)

所在地 青森県むつ市  
建主 社会福祉法人桜木会  
設計 白川直行アトリエ+waiwai  
施工 熊谷建設工業  
階数 地上2階  
構造 鉄骨造  
工期 2018年6月～2020年2月  
防水仕様 SD-EZ仕様 (NBP-227D UD)

山雄和真(やまお・かずま)  
1978年生まれ、2001年京都大学卒業、2004年東京大学大学院修士課程修了、2004年CAat入所、2013年ギングリッチ設立、2018年～ドバイのibda designと共にwaiwaiとして改組、同ファンディングパートナー、東京事務所代表、アジア各国で活躍



エントランス夜景



各ウイングが集中する中央ホール



上：工事中の屋根/下：完成後の建築を俯瞰する

撮影：小林浩志(スバイラル) / 工事写真提供：熊谷建設工業



# ロンプルーフ防水事業協同組合 組合員名簿

## 北海道支部

株式会社 濱建	011-261-5676
株式会社 ラシット	011-781-3908
株式会社 アクアグレース	011-855-2621
株式会社 フクタカ工業	011-856-4622
株式会社 コニシ工営	011-777-3001
株式会社 三浦工業	0155-33-8655
株式会社 中田工業	0123-23-3960

## 東北支部

株式会社 青建防水工業	017-788-4343
株式会社 東興防水工業	0178-41-2700
株式会社 熊谷工務店	019-623-5465
株式会社 阿部防水	0198-22-5665
株式会社 坂田建材	0198-26-4300
株式会社 北洲	0197-64-4378
株式会社 奈良屋	0191-23-5221
株式会社 山本工業	019-692-2847
株式会社 三星産業 東北支店	022-262-5201
株式会社 SSテクノ工業	022-284-0665
株式会社 日央建築	022-236-3885
株式会社 北原建材工業 仙台営業所	022-236-6768
株式会社 菅原防水工業	022-777-7668
株式会社 開発	018-824-2233
株式会社 東和	018-864-4561
株式会社 山建工業	023-633-3003
株式会社 野口	0235-24-1117
株式会社 郡山シーリング	024-953-4141
株式会社 南芥藤防水工業	024-951-7486
株式会社 ファースト	024-983-1931
株式会社 福島防水	024-963-1230
株式会社 田村建材	0246-26-3121

## 信越支部

株式会社 阿部工業	025-274-7621
株式会社 北川瀝青工業 新潟支店	025-283-8911
株式会社 南理研産業	025-382-7812
株式会社 南いけだ建工	025-266-2637
株式会社 岩野商会 新潟支店	025-269-0111
株式会社 新建工	0258-36-1248
株式会社 シマツ防水	025-524-4161
株式会社 岩野商会	026-263-7000
株式会社 中部コート防水	0263-57-3315

## 関東支部 北関東

株式会社 ダイケン	0284-43-1735
株式会社 富士見工業	0287-23-5585
株式会社 キンケン 前橋支店	027-267-0020
株式会社 石田建材工業	027-327-3302
株式会社 北栄産業	027-384-3518
株式会社 埼玉石田	048-651-5819
株式会社 日本防水工業 埼玉支店	048-858-0521

株式会社 ABE Seal	048-699-7150
株式会社 浦和防水工業	048-885-2268
株式会社 シオノ工業	049-222-7240
株式会社 ニチユカ	048-522-4369
株式会社 松坂屋建材	048-524-0111
株式会社 H・Rファクトリー	048-959-9458
株式会社 南鴨下工業	048-944-3111
株式会社 カイシン	048-971-7622
株式会社 三共化工	048-995-1901
株式会社 サイケンシール	049-255-9296
株式会社 ハヤシ防水	048-768-3787
株式会社 ジャパンレジン	0493-54-0306

## 関東支部 首都圏

株式会社 マルヨシ技建工業	029-305-3270
株式会社 内外装工事	029-241-2652
株式会社 奈良屋	029-241-5141
株式会社 南稲田防水工業	0294-52-4681
株式会社 ユタカ工業	0297-74-7309
株式会社 ジョイ・テック	029-871-7874
株式会社 山忠	029-221-9151
株式会社 恩田商工	043-242-1377

株式会社 日本特殊技研	043-244-9000
株式会社 ナナワ工業	043-237-8100
株式会社 糠信瀝青	047-438-4511
株式会社 南鹿島建工	0439-87-0272
株式会社 泉建築	03-3862-5328
株式会社 桑原建材	03-6411-0073
株式会社 高野	03-3254-6331
株式会社 トスコーフテック	03-5295-6350
株式会社 ボンド商事	03-3293-7214
株式会社 高山工業	03-3265-5631
株式会社 エスシープランニング 東京支店	03-6803-5466
株式会社 奥山化工業	03-3571-2703
株式会社 JFE商事マテック	03-5203-6284
株式会社 化研マテリアル	03-3436-4001
株式会社 リバコトレーディング	03-3503-5301
株式会社 岩野商会 東京支店	03-5818-5241
株式会社 フヨー	03-5608-0101
株式会社 ウエハラ	03-3681-7573
株式会社 井上瀝青工業	03-3447-3241
株式会社 トミヨシ商会	03-3775-2203
株式会社 森商事	03-3761-2588
株式会社 南海工業	03-3483-7511
株式会社 新横浜防水	03-5384-2444
株式会社 クリステル工業	03-3372-2451
株式会社 南内田工業	03-3387-9592
株式会社 白倉工業	03-3337-0006
株式会社 O・R・N	03-5992-9601
株式会社 ロンテクノ	03-3946-9261
株式会社 南翔栄技巧	03-5915-0046
株式会社 オセオ防水工業	03-3931-4911

株式会社 日本防水工業	03-3998-8721
株式会社 野口興産	03-3994-5601
株式会社 第一リフォーム	03-6709-0301
株式会社 南宇野工業	03-5613-7595
株式会社 三星産業	03-3912-1262
株式会社 幸和 東京支店	03-5856-9455
株式会社 南カセ防水工業	03-3695-8900
株式会社 南東京リハウスカンパニー	03-3607-0276
株式会社 古川工業	03-3690-9851
株式会社 サクラーフ	03-5879-5591
株式会社 北原建材工業	042-675-2911
株式会社 南鳥海産業	042-632-2501
株式会社 南東洋ライズ	042-368-6161
株式会社 BSK企画	044-712-7710
株式会社 八州工業	042-343-0311
株式会社 宮市防水工業	042-565-4766
株式会社 青木工業	0422-50-0558
株式会社 創栄防水	042-420-4691
株式会社 土屋工業	055-251-4062
株式会社 南中沢実業	055-241-5198

## 関東支部 南関東

株式会社 ティークエクシード	050-3786-1680
株式会社 京浜	045-323-3591
株式会社 ヒコ防水	045-878-8480
株式会社 ビルシステム	045-222-9488
株式会社 ルーフテック	045-721-5111
株式会社 鈴木屋根材	045-442-7738
株式会社 金港瀝青	045-421-6521
株式会社 三星産業 横浜営業所	045-548-9861
株式会社 ハタノ工業	045-820-2332
株式会社 翔栄工業	045-300-0773
株式会社 マルミ産業	045-810-1611
株式会社 ヤナイ興業	045-512-2407
株式会社 神英興業	045-914-9393
株式会社 コウワ 東京支店	044-276-9555
株式会社 川路	044-411-7929
株式会社 ミタテヤ創建	044-750-9411
株式会社 iROOF	044-948-8675
株式会社 千代田建工	044-959-5951
株式会社 aloha	042-810-0871
株式会社 エスケイ	042-741-6207
株式会社 Roof style	042-711-9460
株式会社 ジョールーフ	042-756-4179
株式会社 南テクニクス	042-713-1723
株式会社 南神守建材社	046-822-4288
株式会社 ササボウ	046-884-8542
株式会社 エスシープランニング	046-838-5625
株式会社 プロシード	046-884-9415
株式会社 南海老名防水	046-233-2220
株式会社 サンライズ	0467-98-0199
株式会社 新優	046-244-3897

株式会社 根岸商会	046-255-6237
株式会社 静岡コーキング工業	054-281-1618
株式会社 南石川防水工業	053-471-5888
株式会社 三信建材工業 浜松営業所	053-471-0126
株式会社 南成建産業	053-435-1262
株式会社 協同建材	053-454-5461
株式会社 松本工業	0545-52-3030
株式会社 南志昇産業	054-636-1133
株式会社 南シオヤ防水工業	055-970-2231

## 東海支部

株式会社 建材化工	052-931-0765
株式会社 三榮	052-981-2134
株式会社 南フジ装業	052-902-0187
株式会社 南和中 名古屋支店	052-481-7338
株式会社 高島 名古屋支店	052-955-6801
株式会社 NITTOH	052-304-8210
株式会社 メイタン	052-798-5601
株式会社 三信建材工業	0532-34-6066
株式会社 丸丹	0561-42-0661
株式会社 日比七	0569-21-5131
株式会社 津島建材	058-272-7710
株式会社 長良工業	058-279-5841
株式会社 安全防水工事	0577-32-3554
株式会社 南明装	0575-29-8787
株式会社 太田建材	059-345-0531

## 北陸支部

株式会社 折橋政次郎商店	076-420-5344
株式会社 北川瀝青工業 富山支店	076-441-3261
株式会社 松村建工	076-421-1224
株式会社 南常栄技巧	076-473-1706
株式会社 富山ゴーレックス	076-624-1163
株式会社 折橋政次郎商店 金沢営業所	076-240-6774
株式会社 北川瀝青工業	076-241-1131
株式会社 KBM	076-242-1494
株式会社 共和商会	076-247-1223
株式会社 日精工業	076-240-1101
株式会社 沢田防水工業	076-298-2127
株式会社 大森防水工業	0767-53-0469
株式会社 北川瀝青工業 福井支店	0776-54-2266
株式会社 新明防水工業	0776-34-1313
株式会社 南タケシマ	0776-51-6957

## 関西支部

株式会社 ムツミ技研	077-579-8011
株式会社 小川商事	075-605-6540
株式会社 京都瀝青工業	075-623-1320
株式会社 南石原工業	075-573-5455
株式会社 南防水屋カタヤマ	075-934-1124
株式会社 浜宗産業	0772-72-2220
株式会社 コウワ	06-6452-1461

株式会社 三星産業 大阪支店	06-6443-9721
株式会社 片山鉄建	06-6532-1571
株式会社 南尾崎商店	06-6974-0061
株式会社 南松下商店	06-6698-1720
株式会社 山崎工業	06-6392-9471
株式会社 丸藤	06-6965-6171
株式会社 南ロンテクノ 西日本支社	06-6167-0066
株式会社 JFE商事マテック 大阪支店	06-6453-4555
株式会社 南エイチケーワン	072-247-9368
株式会社 南島田商会	06-6262-3411
株式会社 エイ・アール工事	06-6767-8881
株式会社 南トータルワークス	072-369-2670
株式会社 南神田機工防水	06-6335-5007
株式会社 南成京	06-6866-5371
株式会社 南ジャパンマテリアル	06-6192-9101
株式会社 南赤尾商店	06-6900-0451
株式会社 南タツ工房	072-620-2580
株式会社 南Make Hands	06-7652-9938
株式会社 南ユーシン	0725-45-0255
株式会社 南仲西勝商店	072-724-7001
株式会社 日英工務	06-6746-1700
株式会社 南奥田工業所	06-6901-1155
株式会社 南瀧山建総	06-6829-3331
株式会社 南大阪みどり技研	072-808-8364
株式会社 南九龍建創	072-811-3677
株式会社 南拓工業	078-200-4197
株式会社 南クリエイト工業	078-753-9815
株式会社 南シマザワ	0792-98-8176
株式会社 南明建産業	0792-24-6631
株式会社 南幸和	06-6432-6271
株式会社 南昭和商工	06-6482-3686
株式会社 南大成工材	079-432-6811
株式会社 南イチカワ技研	0797-76-5512
株式会社 南マシロ	0794-70-8106
株式会社 南グローバル工業	0744-47-3450
株式会社 南和歌山ベストン	073-451-8686
株式会社 南和歌山シール	073-445-6905
株式会社 南カメヤ	0739-33-7839

## 中国支部

株式会社 久大建材	0857-53-0920
株式会社 和光工業	0852-60-2132
株式会社 南西日本防水化学	0855-22-3924
株式会社 南岡本組	086-252-6006
株式会社 南森建工事	086-263-5427
株式会社 南橋本防水工業	086-527-9897
株式会社 南梶村商会	0868-23-1251
株式会社 南青山工業	082-255-3131
株式会社 南アルツ	082-532-5675
株式会社 南田村化工	082-237-2272
株式会社 南灰重工業	082-503-5077
株式会社 SGエンジニアリング	082-273-6954

株式会社 南はまはら	0848-23-2760
株式会社 南おおさき	0829-34-1221
株式会社 南アクア建工	083-250-7761
株式会社 南清和防水	0836-39-5789
株式会社 南巴商会	0836-21-0760
株式会社 南はまはら 防府営業所	0835-22-3611

## 四国支部

株式会社 南ナカバリコート	0884-74-7690
株式会社 南さかぐち	088-692-4729
株式会社 南フルイチ	087-868-2617
株式会社 南土居工業	087-880-4720
株式会社 南四国日東工材	0875-72-5337
株式会社 南クニヒロ	089-907-8285
株式会社 南山本商会	089-931-6261
株式会社 南石戸防水工業	088-840-9600
株式会社 南フルイチ高知	088-846-0151

## 九州支部

株式会社 南西日本工材	093-381-2503
株式会社 南タカオ	093-562-0727
株式会社 南山口工業	093-591-0043
株式会社 南ビルドリベア技研工業	093-452-0051
株式会社 南中村技建	093-671-7560
株式会社 南北島工業	092-503-7144
株式会社 南日新興業 福岡営業所	092-441-6241
株式会社 南瀬戸装備	092-822-7333
株式会社 南コウケン工業	092-621-8712
株式会社 南中川建材	0942-43-2131
株式会社 南ハットリ工業	0952-29-7000
株式会社 南イトウ	095-879-1311
株式会社 南高宮建材	095-801-2660
株式会社 南溝上建築	0957-43-1468
株式会社 南南大誠興業	096-227-3390
株式会社 南桂産業	096-234-7202
株式会社 南日新興業 熊本営業所	096-369-4788
株式会社 南三宮工材	097-536-2326
株式会社 南日新興業 大分営業所	097-576-7756
株式会社 南アイワ工業	0985-65-5855
株式会社 南ダイニ	0985-41-8103
株式会社 南日新興業 宮崎支店	0985-54-5355
株式会社 南日新興業	0982-33-2455
株式会社 南日新興業 延岡営業所	0982-35-7811
株式会社 南北原建材商会	099-229-5155
株式会社 南ジュシカ	099-229-1414
株式会社 南日新興業 鹿児島営業所	099-228-5998
株式会社 南沖繩装美工業	098-887-3847

2021年4月1日現在